

地域ぐるみの共同活動による保全活動

都市的地域

16. 鶴巻の田園環境を育む会（神奈川県秦野市）

○本地区は、秦野市東部に位置する水田地帯であり、営農組合や自治会などによる農道、水路及び取水施設の維持保全活動が盛んな地区である。

○都市住民との交流も積極的に行い、農業農村がもつ多面的な機能に対する理解を深めている地区でもある。

【地区概要】平成19年度開始

・取組面積 24.71ha

（田 19.83ha、畑 4.88ha）

・資源量 開水路 2.9km、農道 0.92km

・主な構成員

農業者、非農業者（自治会等）

農地維持支払

資源向上支払（共同）

資源向上支払（長寿命化）

地域の現状



○農業者による農地の維持管理や自治会による景観植栽などの活動は行っていたものの、地域や集落の課題について話し合う機会が限定的であった。

○農業生産への影響は少なかったものの、一部の農業用施設において、維持管理が不十分で破損、老朽化等が進んでいた。

取組内容



農道を利用した
景観植栽活動



農業用施設の補修
(排水路、水甲等)

○水田地帯であり、営農組合や自治会などによる農道、水路及び取水施設に対する維持保全活動を実施。

○農閑期の水田におけるレンゲや菜の花の栽培、農道周辺のアジサイの管理など景観植栽も併せて実施。

効果、課題、今後の展開

○はだの都市農業支援センターと連携し、地域農業の活性化をはかると共に、地域資源の適切な保全の方向性について話し合いが増加。

○支援センターによる事務処理の支援により、本対策の導入が図られ、集会（会議）の機会が増え、地域や集落の課題について話し合う契機を醸成。

○地域住民等が共同で取り組む機会が増え、組織的な繋がり維持、強化に寄与。



←地域住民との
意見交換会



役員会 →
(地域や集落の課題について話し合い)